

当日配布資料

戦略企画雇用経済常任委員会

所管事項説明

(2) 首都圏営業拠点のオープンに向けた取組状況について

追加資料

平成 25 年 6 月 20 日

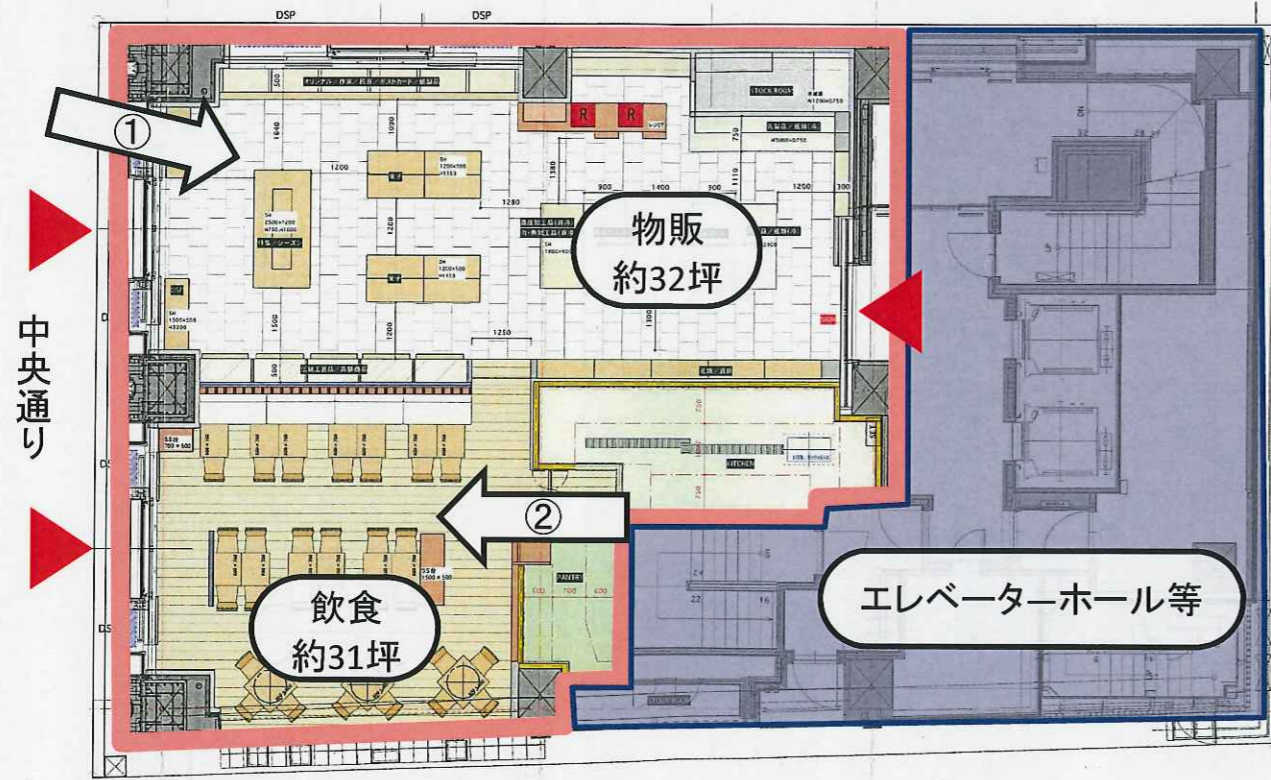
雇用経済部

首都圏営業拠点オープンに向けた情報発信(案)

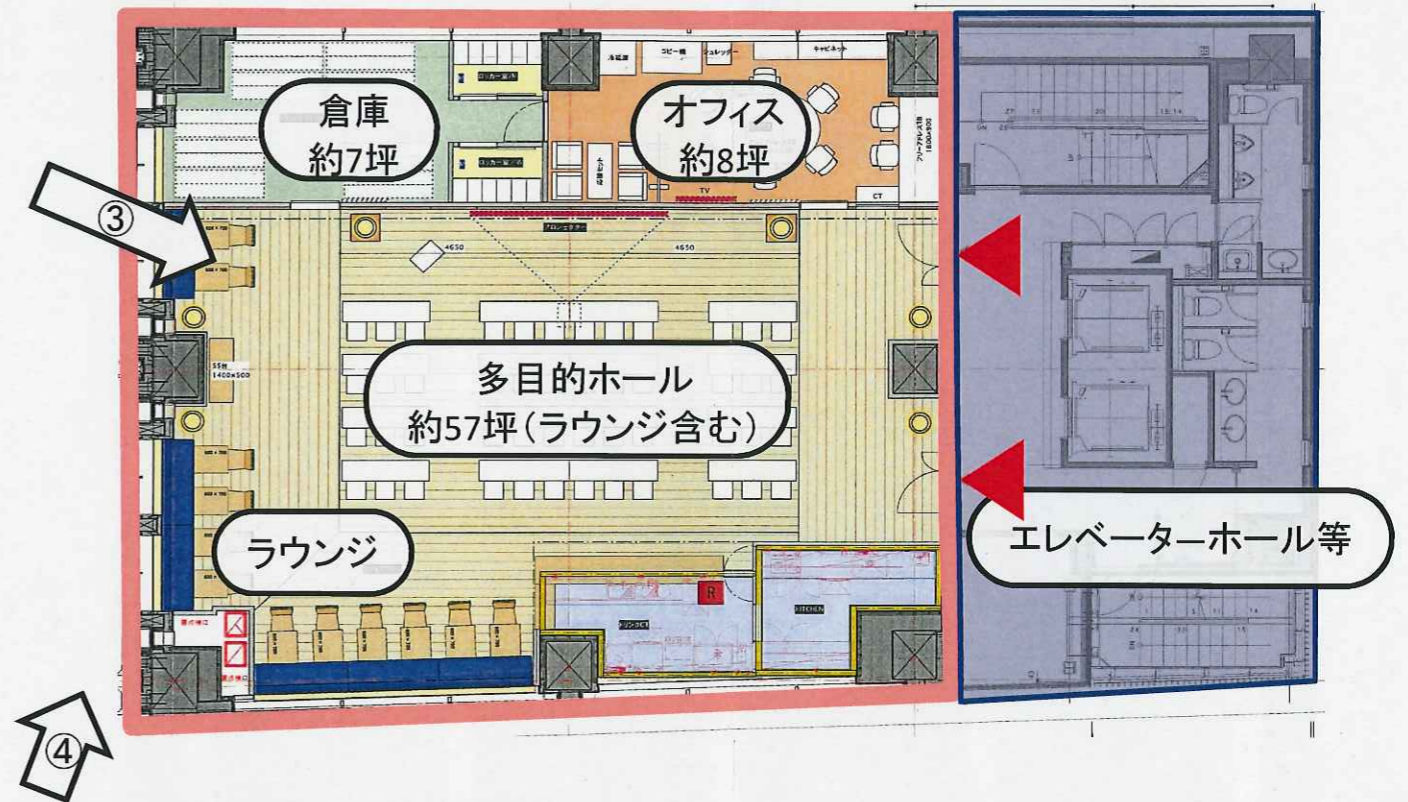
～首都圏全体での面的な三重の認知度向上と日本橋エリアでの応援企業と連携したメインターゲットへのアプローチから集中的な情報発信とコアなファンの囲い込みへ～

	～6月	7月	8月	9月	10月以降	
① 拠点を活用した企画		<ul style="list-style-type: none"> ・拠点1階ガラス面へのPR用フィルムの貼付<7月上旬～> 拠点の中央通り沿いの1階ガラス面にPR用フィルムを貼付し、拠点のオープンや三重の魅力を発信 		<ul style="list-style-type: none"> ・オープン<9月> 内覧会とオープニングイベントを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市町ウィーク・〇〇市町デー<10月中旬以降月2～3回程度> 県内各市町の観光・物産等をPRするイベントを商工会議所・商工会等と連携して開催 ・女子力アップ三重講座<10月～3月> 女性に訴求力のあるファッション・食・健康などをテーマにした著名人によるプレミアムセミナーの開催およびフィールドワークを伴う「女子力アップ三重講座」を開催 ・“三重のいいもん”××マリアージュ講座 ・三県連携による遷宮記念講座および神話プロジェクト講座<10月・12月・2月> 島根県・奈良県との連携による「遷宮」や「神話」をテーマとする講座を開催 ・ニホンバシ46ドゥフケン<10月下旬> 日本橋界隈のオフィスワーカーを対象とした早朝開催の46道府県の情報発信イベントに参加 ・みえミュージアムセミナー<11月中旬に3回開催> 博物館等の対談などにより、ガイドブックではわからない伊勢の魅力を伝えるセミナーを開催 ・新商品開発成果発表会<2月頃> デザイナー等と連携した地域資源活用商品の成果発表会を開催 ・三重TEIBAN展<3月頃> 県内事業者がロングセラー商品づくりをめざす展示会を開催 ・若手経営者交流会<時期未定> 県内若手経営者と首都圏の企業家との交流会を開催 ・首都圏バイヤーとの商談会<時期未定> 首都圏のバイヤーと県内事業者の商談会を開催 ・新博物館PRセミナー<時期未定> 三重の歴史・文化などを発信するセミナーを開催し新博物館をPR 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・拠点オープン告知チラシの街頭配布<7月上旬～> 拠点の街頭でPRチラシを配布し、拠点オープンをPR(毎週平日数回および日本橋エリアのイベント開催時) 		<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画展<9月～10月上旬> 三重の伝統工芸の新しい魅力を発信する企画展やクリエイター等によるトークライブを開催 ・餅街道メニュー等の提供<9月～10月上旬> 企画展の開催に合わせた伊勢餅街道と伊勢茶のセットメニューなどを提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・みえのスポーツ・まちづくり会議<12月頃> スポーツを通じた地域の活性化について検討する会議を開催 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み市<9月上旬> 営業拠点横の新浮世小路を利用し、「ECO EDO 日本橋2013」のイベント期間中に「夕涼み市」を開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・県産材付加価値創造ワークショップ発表会<11月中旬> 県産材の付加価値創生に向けた首都圏学生とのワークショップ成果の発表会を開催 ・みえのスポーツ・まちづくり会議<12月頃> スポーツを通じた地域の活性化について検討する会議を開催 	
② 首都圏全域等での情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・応援団・応援店舗・応援企業への情報発信 					
		<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏店舗でのフェア<7月～10月> 運営事業者が経営する首都圏内の飲食店10店舗で県食材を使ったメニューを提供する三重県フェアを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンとの連携によるフェア<8月中旬> イオン名古屋ドーム店及び東海地区周辺40店舗において三重県フェアを開催予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンとの連携によるフェア<9月上旬> イオン品川シーサイド店及び南関東地区周辺55店舗において三重県フェアを開催予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・百貨店での三重県物産展<1月頃> 首都圏内の百貨店で開催する三重県物産展にあわせて拠点開設をPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンとの連携によるフェア<11月頃> イオン堺北花田店及び西近畿地区周辺51店舗において三重県フェアを開催予定 ・イオンとの連携によるフェア<2月頃> イオン幕張新都心店及び南関東地区周辺56店舗において三重県フェアを開催予定
			<ul style="list-style-type: none"> ・駅を利用したPR<9月上旬> 都内の駅前イベントで三重をPR ・観光キャンペーンガイドブック(第2弾)での拠点PR<9月中旬～> 観光キャンペーンガイドブックをメディア・旅行エージェント等に配布し拠点もPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・三重ゆかりの企業・店舗の協力によるフェア等の開催<10月～> 三重ゆかりの企業・店舗の協力を得て県食材をPRできるフェアや物産展などを開催 		
③ 日本橋エリアでの情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・知事と企業のトップ懇談会<6月～毎月> 知事と企業のトップ懇談会による拠点等三重の魅力を情報発信 					
		<ul style="list-style-type: none"> ・日本橋界隈のシェフを対象とした三重県食材の提案会等 拠点周辺施設の飲食店などと連携した食材フェアの開催に向けたシェフ対象の食材提案会等を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・アサゲ・ニホンバシでのPR<8月上旬> 日本橋界隈の企業家等を講師として開催される勉強会を利用し拠点オープンや三重の魅力をPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・三県連携「遷宮記念パネル展+三重県フェア」<9月中旬～下旬> 島根・奈良との連携で遷宮等をテーマとしたパネル展や県食材を使ったフェアを各アンテナショップで開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点周辺施設の飲食店等と連携した食材フェア<10月下旬の2週間～1ヶ月間> 拠点周辺施設内の飲食店や日本橋界隈の飲食店で、県食材を活用したメニューを提供する食材フェアを開催 ・物産展と連動企画<10月中～下旬> 日本橋エリアの百貨店での物産展の開催に合わせたPR企画を実施 ・まつり協賛イベント<10月～3月> 日本橋最大の秋のまつり「日本橋・京橋まつり」をはじめ、日本橋界隈のイベント・まつりに合わせて協賛イベントを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点周辺施設の飲食店等と連携した食材フェア<1月下旬～2月> 拠点周辺施設内の飲食店や日本橋界隈の飲食店で、県食材を活用したメニューを提供する食材フェアを開催
		<ul style="list-style-type: none"> ・7/28日本橋橋洗いイベント 名橋日本橋保存会主催の日本橋を洗うイベントに参加し拠点オープンをPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・8/4橋の日打ち水大作戦 橋の日を実施される打ち水を行うイベントに参加し拠点オープンをPR 			
④ メディア戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・営業拠点のプロモーション<名称決定後> 首都圏のテレビ、新聞、雑誌等のマスコミに対するプロモーション活動を展開し拠点オープン等をPR ・営業拠点のプロモーション<オープン1週間前> メディアキャラバン及び都道府県記者クラブ等へのプレスリリースを実施し拠点オープンをPR 					
		<ul style="list-style-type: none"> ・観光キャンペーン推進協議会事業でのプロモーションとの連携 新聞、雑誌、テレビ等を対象としたメディアキャラバンに同行し、三重の観光PRとともに、拠点オープンをPR 				
⑤ その他日本橋界隈のイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・7/13～9/23 ECO EDO 日本橋2013 : 日本橋一帯 ・7/19～8/7 ジャパン・レストラン・ウィーク2013 サマープレミアム : 日本橋地域の4つの飲食店 	<ul style="list-style-type: none"> ・8/末 室町一丁目・本町一丁目合同盆踊り : むろまち小路 ・8/末 中央区大江戸まつり盆踊り : 浜町公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・9/14 第3回豊年萬福塾 : 豊年萬福 ・9/下旬 第60回日本伝統工芸展 : 日本橋三越7階催事場 	<ul style="list-style-type: none"> ・9/27～10/15 第6回EDO ART EXPO : 中央区内の企業、ホテル、文化・観光施設 ・10/14 てんてん祭り : 人形町内 ・10/17～19 人形市 	<ul style="list-style-type: none"> ・10/27 日本橋京橋まつり : 中央通り ・11/月上旬 酉の市 : 人形町松島神社 	<ul style="list-style-type: none"> ・1/1～ 日本橋七福神めぐり : 水天宮等日本橋地区八神社 ・1/3 箱根駅伝(復路) : 日本橋地区 ・2/3 節分祭

■1階平面図基本設計(案)



■2階平面図基本設計(案)



■1階イメージ図(案)

イメージ図①: 1階物販(通り側から内側を望む)



イメージ図②: 1階飲食(内側から通り側を望む)



	席数	m ²	坪
物販		106	32
飲食	38席	102	31

【補足】イメージ図について
 今後、三重の魅力的な素材や伝統工芸品等の活用に応じて(什器、壁など)、色合いや形状などが変更されます。

■2階及び外観イメージ図(案)

イメージ図③: 2階多目的ホール(通り側から内側を望む)



イメージ図④: 外観図(通り側から望む)



	席数	m ²	坪
多目的ホール	48席	188	57
ラウンジ	24席		
オフィス		27	8
倉庫		24	7

営業拠点で取り扱う県産品（取扱商品）について

営業拠点で取り扱う県産品の選定手続き

営業拠点で取り扱う県産品については、以下の手続きにより選定します。

1 対象商品

(1) 次の各号のいずれかに該当する商品であること。

- ① 農林水産物については、三重県内で生産、収穫されたものであること。
- ② 農林水産物以外の商品(加工食品、工芸品等)については次のとおりとする。
 - ア) 商品の主要な原材料が三重県産であって、商品の製造または加工の最終段階が県内事業者によって行われていること。
 - イ) 商品の主要な原材料が三重県産であって、県外の事業者により製造または加工された商品の場合は、商品の販売が県内事業者によって行われていること。
 - ウ) 商品の主要な原材料が県外産であっても、その製造または加工の最終段階を県内事業者が行っているか若しくはその販売を県内事業者が行っていること。(ただし、三重県らしさなど三重県のPR、イメージアップにつながる商品であること。)

(2) (1) 以外の商品で、県が必要と認めるもの。

(3) 食品衛生法、JAS法(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)、農薬取締法、健康増進法、薬事法、景品表示法(不当景品類及び不当表示防止法)、計量法、JIS規格(日本工業規格)等、その他関係法令等を遵守していること。

2 申込資格

三重県内に事務所または事業所を有する個人、法人、その他の団体等

3 取扱商品の選定方法

(1) 商品取扱申込書の提出

県産品の出品を希望する者は、「商品取扱申込書」及び必要書類を添付して県に提出する。

(2) 商品選定会議

県は、申込のあった商品を「商品選定会議」に、その取扱いについて提案し、当該会議において決定する。

原則、選定会議は3か月ごとに開催する。

4 取引条件等

仕入れ方法や取引価格、取引時期など取引の諸条件については、運営事業者と出品者間の協議により決定する。

商品の取扱期間は、事故等特段の事由がない限り、原則3か月間取り扱う。期間の延長については、販売実績や顧客評価、商品構成等により決定する。

営業拠点「多目的スペース」の利用について

営業拠点2階多目的スペースについては、県、市町、関係団体等が、さまざまな人々との交流や三重の魅力の情報を発信する場として有効に利用するとともに、1階とも連動して一体感を持った活用を進めてまいります。

1 多目的スペースにおけるイベント

多目的スペースにおいて開催できるイベントは、三重の「食」や「観光」、「歴史」、「文化」、「産業」など様々な魅力情報の発信、「三重ファン」の積極的な拡大、県産品の販路拡大、県内への誘客の促進のために開催するセミナー、講座、商談会、展示会等とします。

ただし、営利のみを目的としたイベントを開催することはできません。

イベント例

- ・観光PRに関するイベント
- ・三重の伝統・文化・歴史等に関するセミナー・講座
- ・伝統産業・地場産業を紹介する展示会
- ・生産者と事業者との商談会・展示会
- ・ミニキッチンを使った食イベント
- ・首都圏でのネットワークの活用、拡大のためのイベント 等

2 利用条件等

- ・施設、設備・備品等の利用料及び光熱水費は無料とします。
- ・利用時間は、原則午前10時00分から午後10時00分までとします。
- ・座席数は約50席です（講義型の場合）。
- ・スクリーン、プロジェクタ、DVDデッキ等が使用可能です。
- ・ミニキッチンにおいて、給湯やIH調理器による簡易な調理等の対応が可能です。

3 利用申込方法

- ・県（三重県営業本部担当課）は、事前に県庁各課、市町、関係団体等に利用の意向調査を行い、イベント計画を作成します。
- ・利用者は、イベント計画に基づき、イベント実施の2カ月前までに申請書を県に提出し、県はその内容が適当であると認める場合は、承認・通知を行います。

営業拠点の運営にかかる指標の検討状況について

首都圏営業拠点の運営状況を的確に把握し、営業拠点の適正で効果的な運営を図るため、地域ブランド、観光誘客、情報発信などの有識者の方で構成する、「首都圏営業拠点経済効果指標検討会」での意見をもとに指標の検討を進めています。

現在、検討会で出されている指標設定に関する考え方は、以下のとおりです。

- ①地域ブランド力、好感度、観光、物産など、様々な視点からの指標の設定
- ②県民にわかりやすい指標の設定
- ③他県が採用しているような売上額、来館者数などの指標のほかに、三重県独自の指標の設定
- ④来館者アンケート調査の実施による指標の設定
- ⑤商談会の実施による成果指標の設定

三重県フェア 報告書(案)

平成25年5月24日(金) - 26日(日)
埼玉県越谷市 イオンレイクタウン
三重県雇用経済部三重県営業本部担当課

目 次

1.	開催概要	2
2.	期間中来場者数	2
3.	実施概要	2
4.	媒体露出	4
5.	アンケート結果	7
6.	まとめ	8
7.	会場の状況	10

1 開催概要

【三重県フェア 基本事項】

- 名 称 「イオン三重県フェア2013」
- 開催日 2013年5月24日(金)～26日(日)
- 時 間 9:00～19:00(最終日～18:00)
- 場 所 イオンレイクタウン mori
(木の広場、水の広場、噴水広場、花の広場、木～水の広場通路、
水～花の広場通路)
- 主 催 三重県
- 共 催 イオンリテール(株)

※■ 同時開催

第六十二回神宮式年遷宮 ステーションフォトギャラリー
宮澤正明写真展「伊勢神話への旅」(主催:御遷宮対策委員会)

- テーマ 実はそれ、ぜんぶ三重なんです!
- コンセプト
 - ・三重県および県内市町を知る!
 - ・三重のブランド価値を知る!(.....質的情報発信)

2 期間中来場者数(イオンレイクタウンモール来場者数)

5月24日(金)	88,692人
25日(土)	173,986人
26日(日)	214,049人
合 計	476,727人

3 実施概要

参加団体 124団体

- ・催事参加総数46団体
三重県、29市町、その他16(団体・事業者)
- ・イオン直営催事場参加事業者 78事業者

【箇所別参加者数】

(1) 直営催事場

三重県フェア（食品・住宅余暇商品等）78事業者

(2) 水の広場（開会セレモニー 5月24日（金）14時～ 於：ステージ）

【ステージ】10演目

- ① いなべ市（元気リーダーパフォーマンス）
- ② 伊賀市（いが☆グリオパフォーマンス）
- ③ 名張市（119団アンシンダー）
- ④ 津市（しゃご馬）
- ⑤ 伊勢志摩観光コンベンション機構※
（ゆるキャラ大集合、Julias ステージ、海女ガールPR）
- ⑥ 鳥羽市（3世代海女トークショー（中川母娘）
- ⑦ 鈴鹿サーキットPR※（モビリティランド鈴鹿）
- ⑧ 桂三輝（サンシャイン）
- ⑨ ザブングル
- ⑩ MC：萩美香、堀口文宏

【観光PRブース】9ブース（一部分割）、（29市町、4団体・企業）

- ① 三重県観光キャンペーン（三重県・29市町等）
- ② 四日市市
- ③ 名張市
- ④ 伊勢志摩観光コンベンション機構※
（8市町：伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、玉城町、松阪市、明和町、度会町）
- ⑤ 鳥羽市・玉城町・尾鷲市（3市町）
- ⑥ 東紀州地域振興公社※（5市町：尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町）
- ⑦ 東紀州の物産PR／販売※（紀北町商工会）
- ⑧ 伊勢木綿コーナー※（すかや呉服店）
- ⑨ 首都圏営業拠点PRコーナー（三重県）

【餅街道】7事業者※

安永餅本舗柏屋（桑名：安永餅）、笹井屋（四日市：なが餅）、深川屋（亀山：関の戸）、へんばや商店（伊勢：へんば餅）、鈴木翠松軒（伊勢：くうや餅）、二軒茶屋餅角屋本店（伊勢：二軒茶屋餅）、三重県茶業会議所

(3) 噴水広場（ご当地グルメ）4団体・事業者

- ① せんばいの店（相可フードネット（株））＋瀬古食品（有）※
- ② 名張牛汁※（名張牛汁協会）
- ③ 海女の海鮮焼（鳥羽市（運営：鳥羽商工会議所））
- ④ まんぼう串焼等（紀北町商工会）

(4) 花の広場他

- ① 伊賀忍者体験・観光PR（伊賀市）
- ② F1開催25周年記念カー、8耐バイク展示（モビリティランド鈴鹿）
- ③ 三重県技能士会による展示・ワークショップ※

(5) 同時開催：宮澤正明写真展「伊勢神話への旅」（主催：御遷宮対策委員会）

※は団体・企業で参加（重複はマークなし）

4 媒体露出

三重県フェア(イオンレイクタウン) メディア掲載一覧<広告換算値試算>

テレビ

放送局名	番組名	時間帯	単位	単価	放映尺(秒)	広告換算値
三重テレビ	中日ニュース	17:40~18:00	15秒	¥170,000	70	¥793,333
三重テレビ	とってモワクドキ!	18:00~18:50	15秒	¥170,000	600	¥6,800,000
中京テレビ	キャッチ!(第2部)	18:15~19:00	15秒	¥330,000	30	¥660,000
名古屋テレビ (テレビ朝日系列ネット)	スーパーJチャンネル	16:53~19:00※	15秒	¥740,000	0	¥0
※放映なし					合計	¥8,253,333

新聞

新聞社名	発行日	単位	単価	記事幅(cm)	広告換算値
伊勢新聞	5月25日朝刊	7cm×1段	¥55,000	111	872,143
伊勢新聞	5月26日朝刊	7cm×1段	¥55,000	138	1,084,286
東京新聞(埼玉版)	5月23日朝刊	7cm×1段	¥36,000	23	118,286
				合計	2,074,714

広告換算値総額	¥10,328,048
---------	-------------

(参考)		単価	部数	広告換算値
新聞折込チラシ	埼玉県	¥7.70	1,500,000	11,550,000
請求書封入チラシ	全国	¥60	170,000	10,200,000

【メディア掲載】

(2013年5月25日伊勢新聞)

(2013年5月26日伊勢新聞)

業計画案

日本最大級SCで
三重フェアが開幕

「食」「文化」「観光」アピール

三重県フェアが、アビールする伊勢神宮(中京)から三重県海産物のイオンレイクタウンで

元祖 伊勢肉
金谷

大観小説

拠点と催しで売り込み

県の首都圏営業戦略

情報発信狙いファン発掘

まる見え三重
リポート

三重県は、1日に約100万人が訪れる首都圏最大の観光拠点として、三重県フェアを、アビールする伊勢神宮(中京)から三重県海産物のイオンレイクタウンで、5月25日開幕した。県は、首都圏最大の観光拠点として、三重県フェアを、アビールする伊勢神宮(中京)から三重県海産物のイオンレイクタウンで、5月25日開幕した。県は、首都圏最大の観光拠点として、三重県フェアを、アビールする伊勢神宮(中京)から三重県海産物のイオンレイクタウンで、5月25日開幕した。

(2013年5月23日東京新聞埼玉版)

三重県フェア
海女姿でPR
あすから越谷で
イオンレイクタウン

(越谷市)で二十四日から「三重県フェア」が開幕するのに合わせ、フェアを主催する三重県から海女姿の観光PR隊が県庁を訪れた。写真。「十月に式年遷宮がクライマックスを迎える伊勢神宮にもお越しください」とPRした。

連続テレビ小説「おまちゃん」では岩手県の海女が取り上げられているが、全国千人ほどいる海女のうち半数は三重・伊勢志摩地域で活動しており、アビールやサザエをとっている。フェアでは三重県海産物や、伊勢神宮への参宮街道沿いで旅人をもてなすために供された名物餅などが購入できる。

フェアは二十六日まで。初日は鈴木英敬・三重県知事が参加してセレモニーが行われる。(前田明子)

(参考：イオンカード会員封入チラシ)



5 アンケート結果

(1) 来場者アンケート

- ・三重県フェアは大変よかった・よかった・・・ 91.1%
- 大変よかった・・・ 32.2%
- よかった・・・ 58.9%
- ・三重県に行きたくなった・・・ 84.4%
- ・三重県に魅力を感じる・・・ 86.8%
- とても魅力的・・・ 50.5%
- やや魅力的・・・ 36.3%

(2) 市町等催事参加者アンケート (5段階評価)

- ・準備段階の県およびイオン側の対応・・・ 3.1
- ・フェア実施中の県およびイオン側の対応・・・ 4.0

(3) 対面販売事業者アンケート

- ・準備段階の県およびイオン側の対応・・・「満足・やや満足」が58.8%
- ・フェア実施中の県およびイオン側の対応・・・「満足・やや満足」が68.8%

6 まとめ

- 1) イオンレイクタウン三重県フェアは、日本最大のショッピングセンター「イオンレイクタウン(埼玉県越谷市)」のmori棟(178,061平方メートル)1階、モールとスーパーマーケット店舗のほぼ全域で開催された。
- 2) このフェアは、モール1階の「水の広場」を中心に、「花の広場」「木の広場」「噴水広場」とこれらをつなぐ通路に、三重県内の市町など各団体観光PRや物販のブースが設置され、ステージイベントを含む多様な催事が行われた。
- 3) これとあわせて、スーパーマーケットに併設された直営催事場では、三重県の事業者による実演・対面販売が行われるとともに、スーパーマーケットでも数多くの三重県産品が販売された。
- 4) 国内最大のショッピングセンターの1階部分のほぼ全域を使い、多数の参加者の思いをあわせて開催する催事展開は、県にとってもイオンにとっても初の試みであった。
- 5) 会場内の来場者アンケートでは、「三重県フェアは大変よかった・よかった」「三重県に行きたくなった」「三重県に魅力を感じる」と答えた人が8割を大きく上回るなど好評であり、「情報発信の量的拡大」の目的は達成したと思われる。
- 6) 県と市町等の窓口を一本化し情報共有と調整を進めたところ、5段階評価で3.1であった市町等参加者の「準備段階の評価」は、「開催中の評価」では4.0と向上した。首都圏営業拠点の開設に向けては、さらに連携と情報共有を強化していく必要がある。
- 7) 参加事業者については、2回にわたり商談会を開催し、販路拡大の機会の拡大に努めた。事業者の満足度については、準備段階で「満足」「やや満足」と答えた事業者は58.8%であったが、開催中の対応が評価され、事後の回答は68.8%に向上した。
- 8) 今後は、県関係各課等と連携して、さらに県内事業者のフォローアップをはかっていく必要がある。
- 9) 販売については、対面販売や、それができない場合でも、商品の由来、産地・生産者情報などの適切な表示や食べ方などの提案、歴史・文化などのストーリーなど、「情報を伝えること」の重要さが明確になった。
営業拠点で取り扱う商品についても、こういった差別化を意識した販売手法が重要であると考えられる。
- 10) また、情報を効果的に伝えていくためには、来場者の動線や視線に応じたブースレイアウトの工夫や、ストーリー性を持った全体レイアウトなど、観光PRブースも含めた全体の企画性も必要である。

7 会場の状況



